



2020年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月14日

上場会社名 ルーデン・ホールディングス(株)
 コード番号 1400 URL <http://www.ruden.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 西岡 孝
 (氏名) 佐々木 悟
 TEL 03-6455-2938

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	722	9.4	35	84.5	38	63.7	20	39.7
2019年12月期第1四半期	660	3.2	19		23		14	

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 19百万円 (34.8%) 2019年12月期第1四半期 14百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	1.64	1.58
2019年12月期第1四半期	1.18	1.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	3,255	2,833	75.2
2019年12月期	3,255	2,811	74.6

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 2,448百万円 2019年12月期 2,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		0.00	0.00
2020年12月期					
2020年12月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,481	11.4	87		88		67		5.40
通期	2,902	19.3	164		166		124		9.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期1Q	12,476,000 株	2019年12月期	12,476,000 株
期末自己株式数	2020年12月期1Q	200 株	2019年12月期	200 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期1Q	12,475,800 株	2019年12月期1Q	12,420,967 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により景気は足下で大幅に下押しされており、厳しい状況にあります。

一方、当社グループの既存事業と密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場におきましては、当第1四半期連結累計期間の供給戸数は前年同期比35%減（民間調査機関調べ）となり、契約率も2ヶ月連続して70%を切る（民間調査機関調べ）等、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、既存取引先とのさらなる関係強化及び新規法人開拓の強化に注力してまいりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高722百万円（前年同四半期比9.4%増）、営業利益35百万円（同84.5%増）、経常利益38百万円（同63.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益20百万円（同39.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ハウスクエア事業

ハウスクエア事業に関しましては、密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場が厳しい状況で推移いたしました。マンションデベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力するとともに、中古マンション市場の拡大をはかり、代理店事業も順調であったため、売上・利益ともに、想定以上に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるハウスクエア事業の業績は、売上高322百万円（前年同四半期比2.5%増）、営業利益74百万円（同14.1%増）となりました。

②ビル総合管理事業

ビル総合管理事業に関しましては、求人募集費及び材料費の増加や現場人件費の高騰に伴う経費増があったものの、新規現場の獲得等があり、順調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間におけるビル総合管理事業の業績は、売上高364百万円（同11.2%増）、営業利益15百万円（同47.5%増）となりました。

③総合不動産事業

総合不動産事業に関しましては、区分所有マンション1戸の販売しか出来ず、厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における総合不動産事業の業績は、売上高34百万円（同97.3%増）、営業利益1百万円（同89.1%減）となりました。

④その他事業

その他事業に関しましては、本格的な販売には至っておらず、厳しい状況で推移いたしました。

また、当社の子会社であるRuden Singapore Pte. Ltd. のICOについては、総合的に考慮して、前連結会計年度に引き続き、当第1四半期連結累計期間においては収益認識しないと判断し、重要性の観点から鑑みて、連結決算には組み込んでおりません。今後の会計処理については、協議をしたうえで、判断することといたします。また、ICO時に調達した1,700BITCOINについては、今のところ現金化していませんが、現段階では現金化の時期や方針について具体的に定まった方針はないものの、資金需要と相場を考慮し、順次、現金化していく予定です。そして、不動産プラットフォームの追加開発についても、新型コロナウイルスの影響もあり現在は未定ですが、状況を見極めながら判断する予定です。

この結果、売上高0百万円（同17.4%増）、営業損失0百万円（前年同四半期は営業利益0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,048百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が71百万円、短期貸付金が550百万円、その他が8百万円増加したことなどによる一方、現金及び預金が600百万円、販売用不動産が28百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は207百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が0百万円、その他が0百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は3,255百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は387百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が8百万円、未払金が5百万円増加したことなどによる一方、その他が33百万円減少したことなどによるものであります。固定負債は34百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円減少いたしました。これは主にその他が0百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総負債は422百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,833百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円増加いたしました。これは主に新株予約権が2百万円増加したこと及び親会社株主に帰属する四半期純利益20百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は75.2%（前連結会計年度末は74.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の連結業績予想に関しては、現時点では、新型コロナウイルスの感染終息時期の見通しが立たず、当社グループ業績に与える影響について、適正かつ合理的な算定の実施が困難なため、連結業績予想値には織り込んでおりません。よって、2020年2月13日の「2019年12月期決算短信」で公表しました連結業績予想値については変更をしておりません。今後、当社グループ業績に与える新型コロナウイルスの拡大による影響が重大と見込まれることが明らかになった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,570,608	969,912
受取手形及び売掛金	300,038	371,744
商品及び製品	116,895	116,895
販売用不動産	406,062	378,061
仕掛販売用不動産	152,159	152,159
仕掛品	1,786	2,181
原材料及び貯蔵品	7,018	6,858
短期貸付金	240,500	790,500
未収入金	45,156	46,938
その他	204,580	212,834
流動資産合計	3,044,807	3,048,087
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	134,015	134,015
減価償却累計額及び減損損失累計額	△79,634	△80,184
建物及び構築物(純額)	54,380	53,831
機械装置及び運搬具	3,428	3,368
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,061	△3,024
機械装置及び運搬具(純額)	367	344
工具、器具及び備品	7,276	7,276
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,479	△5,649
工具、器具及び備品(純額)	1,796	1,626
土地	37,543	37,543
リース資産	10,974	10,974
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,578	△4,892
リース資産(純額)	6,395	6,082
有形固定資産合計	100,483	99,427
無形固定資産		
その他	10,403	10,403
無形固定資産合計	10,403	10,403
投資その他の資産		
投資有価証券	3,580	2,747
出資金	681	681
破産更生債権等	678,845	687,836
損害賠償請求権	70,057	70,057
その他	86,446	85,614
貸倒引当金	△740,142	△749,133
投資その他の資産合計	99,469	97,803
固定資産合計	210,356	207,635
資産合計	3,255,164	3,255,723

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	91,895	100,226
短期借入金	2,600	2,600
未払金	154,112	159,934
未払法人税等	19,410	18,441
預り金	44,707	40,681
賞与引当金	—	2,542
売上値引引当金	415	418
アフターコスト引当金	1,306	1,314
その他	95,395	61,795
流動負債合計	409,843	387,956
固定負債		
長期借入金	18,183	18,168
退職給付に係る負債	10,647	10,807
その他	5,424	5,091
固定負債合計	34,255	34,066
負債合計	444,099	422,023
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,200,136	2,200,136
資本剰余金	732,488	732,488
利益剰余金	△504,397	△483,964
自己株式	△290	△290
株主資本合計	2,427,936	2,448,370
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	667	114
その他の包括利益累計額合計	667	114
新株予約権	382,460	385,215
純資産合計	2,811,065	2,833,700
負債純資産合計	3,255,164	3,255,723

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	660,422	722,319
売上原価	404,104	446,125
売上総利益	256,318	276,194
販売費及び一般管理費	236,961	240,480
営業利益	19,356	35,713
営業外収益		
受取利息	3,373	1,582
遅延損害金	—	1,059
その他	701	96
営業外収益合計	4,075	2,738
営業外費用		
支払利息	47	66
為替差損	32	30
控除対象外消費税	110	255
その他	—	45
営業外費用合計	190	398
経常利益	23,241	38,053
特別利益		
固定資産売却益	—	649
特別利益合計	—	649
特別損失		
リース解約損	—	3,093
特別損失合計	—	3,093
税金等調整前四半期純利益	23,241	35,610
法人税、住民税及び事業税	7,517	14,101
法人税等調整額	1,095	1,075
法人税等合計	8,612	15,177
四半期純利益	14,628	20,433
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,628	20,433

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	14,628	20,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	119	△552
その他の包括利益合計	119	△552
四半期包括利益	14,748	19,880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,748	19,880
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ハウスケ ア事業	ビル総合 管理事業	総合不動 産事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	314,837	327,920	17,643	660,402	20	660,422	—	660,422
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	314,837	327,920	17,643	660,402	20	660,422	—	660,422
セグメント利益	64,980	10,756	12,357	88,094	54	88,148	△68,792	19,356

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△68,792千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△68,792千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ハウスケ ア事業	ビル総合 管理事業	総合不動 産事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	322,753	364,727	34,814	722,295	24	722,319	—	722,319
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	322,753	364,727	34,814	722,295	24	722,319	—	722,319
セグメント利益	74,153	15,869	1,346	91,369	△58	91,311	△55,597	35,713

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△55,597千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△55,597千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。